

## 「全鍍連」 2023年 8月号 巻頭言

全鍍連 経営担当副会長 鈴木 泰造(鈴木鍍金工業(株) 代表取締役)

「今こそ行動あるべし」



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2023年5月8日から5類感染症に変更されたことにより、また以前のような対面機会が増えて参りました。

先般、開催されました全鍍連での総会および懇親会も4年ぶりの催しとなり、感慨もひとしおです。懇親会では、あっという間に時が過ぎ、やはりリモート会議では味わえない空気感があり、非常に有意義で充実した楽しい一時となりました。

しかし、多くの方々とお話をする中で、現状抱えている悲痛な問題点に誰しもが悩まされておりました。原材料価格の高騰や水光熱費の値上りといった鍍金処理コストの半端ない上昇が続いている状況にも関わらず、めっきの価格改定をなかなか認めてもらえないという現実で落胆の声が上がっておりました。あれやこれやの書類の提出や資料（データ）作成を求められ、査定結果といったらそのごく一部が支払対象となるだけです。その労力が非常に空しいのです。

世間では連日、食料品の値上げや大企業の大幅な賃金アップの報道がなされております。この差は一体、何なのでしょう。事業を継続していく上で「適正価格」というものは非常に“大事”なものであると思います。業種によって偏るものは無く、全ての業種において共通して言えることではないでしょうか。だからこそ、こんな時代だからこそ、皆で流れを変えようではありませんか。全鍍連が先頭に立ち、そして組合員が結集し、おかしい事はおかしいと適正価格にて取引が行われるよう声を上げようではありませんか。

また私は今回の全鍍連総会におきまして、経営委員会の担当副会長を2年間やらせて頂くこととなりました。私一人では何の力も能力もございませんが、経営委員長の金森さんを筆頭に、3人の副委員長の方々と共に、女性経営者部会や人材育成といった様々な事業を通じて、女性経営者や若手経営者の方々の新たなる息吹で、めっき業界が今後「改革・躍進・進化」できるよう努めて参りたいと思っております。

どうぞ皆様方のご指導およびご協力の程、宜しくお願い致します。